



毎月10日発行

発行所

東京都新宿区若松町17番
18号 (郵便番号162 0056)

公益財団法人 合気会

(合気道本部道場)

編集人 可児 晋

電話03 (3203) 9236(代表)
FAX03 (3204) 8145

購読料

1ヵ年 2,500円

郵便振替

00150-0-49527番

ご購読は、なるべく上記
振替口座をご利用下さい

道歌

無明とは
誰やの人か
夕月の
いづるも入るも
知る人ぞなし

推薦昇段者発表・証書授与式

例年行われている新年の
鏡開き式は、昨年末に合気
会職員が起した事件のた
めに自粛し、推薦昇段者発
表・証書授与式として行わ
れた。

推薦昇段者発表及び証書



証書授与式に500名が集まる

授与式は1月8日午後2時
より、50名の門弟が本部
道場に参集した。

まず植芝守央道主より
「皆様おめでとうございま
す。年が明けて、また新たな
気持ちで最初の行事を迎え
ました。昨年、合気道は非
常に素晴らしい形で普及・
振興することができました。
それは今日お集りの皆
様をはじめとする世界13
0ヶ国で稽古されていらっ
しやる全員のご協力とご支
援がその結果を表したのだ
と私は思います。特に昨年
第12回の国際合気道大会が
群馬県高崎市で開催され、
70の国と地域から延べ1万
2千名の方々が集まり、大
変すばらしい大会ができた
と、これは先達から今日
まで合気道をしっかりと稽
古し真摯に受け止めた方々
のお力によるものと思っ
ております。そして、この素
晴らしい合気道を修養する
ことにより、皆が社会貢
献へと繋げていかなければ
ならないと思います。その
ためにはまず私共は、やは
り道を探求する者として、
私自身も、そうさせていた
だきますが、しっかりと
日々の稽古を大切にすると
持ちをもつていただければ

と思います。今年も1年、
頑張っていきたいと思いま
す。よろしく願います。」
と年頭の挨拶があった。

次に役員代表挨拶とし
て、古藤昇司公益財団法人
合気会専務理事より「新年
のご挨拶を申し上げる前
に、皆様方にお詫びを申し
上げなければなりません。
皆様方、マスコミ等で家
内のように、昨年12月、当
会職員が暴行事件を起こし
逮捕される事態となりまし
た。暴行事件被害を受けた
方には誠に申し訳なく、心か
ら深く深くお詫びを申し上
げます。また、この不祥事
により皆様方にも色んな
ご心配やご迷惑をかけたこ
とと存じます。改めて皆々
様方にも心からお詫びを申
し上げます。勤務時間外の
出来事とはいえ、我々当会
といえども、社会的
責任は重大であり、道義的
責任を痛感しているところ
であります。常日頃、我々
は職員に対して、合気道の
理念に則り、法令遵守を指
導してきたつもりでありま
したが、残念ながらこのよ
うな事件を起こしてしま
いました。まだまだ指導が不
十分だったと痛感すること
も、まことに遺憾であり



道主による奉納演武

また、皆様方におかれま
しては、元日の太陽の昇る
ごとの素晴らしい新年を
お迎えになられたことと存
じます。我々合気会も、年
末はなかなか重い空気の中
でありましたが、幸い皆様
方のご激励をいただき協
力を賜りまして、静かなう
ちにも道主を中心に、新年
をお迎えすることができま
した。昨年我々合気会も
道主が先ほど申し上げまし
たように、1年間、色んな
行事を滞りなく、皆様方
のご協力の賜物で、きちっ
と行うことができました。特

に、道主が仰られました
立派に国際大会ができた
ことに、心から厚く
御礼を申し上げる次第であ
ります。

話は別になりますが、昨
年ノーベル平和賞をいただ
いたのは、南米のコロンビ
アのサンタス大統領であり
ます。サンタス大統領が何
でノーベル平和賞をいただ
いたのか、その業績は、コ
ロンビアという国は半世紀
以上、つまり53年間、国内
において政府軍とゲリラが
争って、同じ国民の中で20
数万人の犠牲者を出すとい
う、悲しい国家でありまし
た。しかし昨年、政府軍と
ゲリラの間で和平が成立い
たしました。サンタス大統
領がノーベル平和賞を受賞
されたその授賞式の挨拶の
中でおっしゃって、わたく
しが感激した言葉は『私は
ゲリラと対するときに彼ら
を敵と思ったことはありません。尊敬をもって対話を
重ねた結果、和平を招くこ

とができました』とおっ
しゃっていましたが、それは
開祖盛平翁が我々に教えて
くださったことの、和合の
精神と一緒にではありません
か。この素晴らしい合気道
の精神をもう一度我々は心
に受け止めて、本年もまた
皆さん、一緒に汗をかこう
ではありませんか。結びに
植芝家の弥栄はもちろんの
こと、合気道に関係するす
べての方々のご健勝とご多
幸をお祈り申し上げまし
て、新年の挨拶とさせてい
たきます」と挨拶があっ
た。

続いて来賓としてリニ
ウス・メイリーナス・ナカ
レス駐日リトアニア共和国
特命全権大使が紹介され
た。

続いて植芝道主による奉
納演武が披露され、『推薦
昇段者発表』及び証書授与
式が行われた。今年も初段
から八段まで総勢823名
が推薦昇段し、各段位の代
表者に道主より証書が授与

された。最後に多田宏本部
師範より「皆様あけまして
おめでとうございませう。昇
段されました方、おめで
とございませう。皆さんも昇
段されました方も今年こそ
しっかりと稽古しよう、大
いに気持ちを高められたこ
とと思います。稽古するか
らには色々な面で上達をし
ます。例えば江戸時代に芸
術大鑑あるいは、天狗剣術
論という本が出ております
が、当時芸術というものは
承知のように、武術・剣術
のことです。本日のように
絵画や彫刻、音楽を芸術と
いったのは明治になって、
アートに当てはめられた。
つまり我々の行っている合
気道は、大切な道の修行で
あると同時に芸術の修行で
あるということになりま
す。先ほどの本の中に『剣
術は勝負の技なりといえど
もその局側に及んでは、身
体妙用の自然にあらずとい
うことなし』どんな方法を
取るうとも人間がやるから
には、命の力を高める、そ
して心と体の使い方の法則
をよく心得る。そうすれ
ば、こうありたいという現
実、こうありたいという発
想、こうありたいという仕
事が宇宙の法則に従って発
展していくことができるの
だ、だからそれはしっかりと
学べと教えております。今
年このように世界に広がっ
ていく道を修行するにあた
りまして、私どもは命の力
を高め、できるだけ健康で
できるだけ力強く、怪我・
病に罹らず、しっかりとし
た生き方を行っていきたく
いものだと思っております。
今年も皆様、道主先生を中
心として、一生懸命稽古い
たしましょう」と挨拶があ
り、締めくくられた。

全日本合気道連盟理事会



全日本連盟役員の前で挨拶する道主

平成28年度第2回全日本
合気道連盟理事会は平成29
年1月7日12時半より合気
会会議室にて行われた。

はじめに植芝守央道主よ
り年頭の御挨拶を頂き、そ
の後、尾崎响理事長が議長
となり会議に入った。

はじめに事業報告として
昨年9月、高崎市で開催さ

れた第12回国際合気道大
会、また、同大会期間中に
行われた全日本合気道連盟
創立40周年記念道主特別講
習会、第12回国際合気道演
武大会についての報告、ま
た機関誌第14号発行、全日
本合気道連盟団体名簿改訂
版制作等について各常任理
事より報告された。

続いて事業計画では、本
年10月に北海道で開催され
る第15回全日本合気道連盟
講習会(主管、北海道合気
道連盟)について、藤井幸
一理事より説明があった。

また、本年発行される機
関誌15号、16号について尾
崎理事長より発行時期など
が説明された。

された。最後に多田宏本部
師範より「皆様あけまして
おめでとうございませう。昇
段されました方、おめで
とございませう。皆さんも昇
段されました方も今年こそ
しっかりと稽古しよう、大
いに気持ちを高められたこ
とと思います。稽古するか
らには色々な面で上達をし
ます。例えば江戸時代に芸
術大鑑あるいは、天狗剣術
論という本が出ております
が、当時芸術というものは
承知のように、武術・剣術
のことです。本日のように
絵画や彫刻、音楽を芸術と
いったのは明治になって、
アートに当てはめられた。
つまり我々の行っている合
気道は、大切な道の修行で
あると同時に芸術の修行で
あるということになりま
す。先ほどの本の中に『剣
術は勝負の技なりといえど
もその局側に及んでは、身
体妙用の自然にあらずとい
うことなし』どんな方法を
取るうとも人間がやるから
には、命の力を高める、そ
して心と体の使い方の法則
をよく心得る。そうすれ
ば、こうありたいという現
実、こうありたいという発
想、こうありたいという仕
事が宇宙の法則に従って発
展していくことができるの
だ、だからそれはしっかりと
学べと教えております。今
年このように世界に広がっ
ていく道を修行するにあた
りまして、私どもは命の力
を高め、できるだけ健康で
できるだけ力強く、怪我・
病に罹らず、しっかりとし
た生き方を行っていきたく
いものだと思っております。
今年も皆様、道主先生を中
心として、一生懸命稽古い
たしましょう」と挨拶があ
り、締めくくられた。

入身転換

年初から厳しい
寒さが続いていた
が、寒稽古も無事
終えた。いつの間
にか立春も過ぎ
て、気が付くと梅
が咲き始めていた。空気は
まだ冷たいが、日の出も少
し早まり暖かい太陽の光に
春の訪れを感じる昨今だ。
日本経済は円安の効果で
輸出が堅調となり企業業績
にも日が差しており、景気
の回復も期待できる。しか
し大きな不安要素がある。
日本を名指しで批判した
するトランプ米大統領の
政策がどうなるかである。

トランプ氏は、先月、大
統領に就任早々、種々の大
統領令に署名し世界中にイ
ンパクトを与えた。先ずは
選挙運動中の公約通り「T
PPからの脱離」、「オバマ
ケア撤廃」、「メキシコ国境
に壁建設」に加え、「中東
の7ヶ国からの入国制限並
びにシリア難民受け入れ停
止」などを打ち出し米国内
でも大騒ぎである。元々、
米国は移民の国であり、例
えば、先端技術を創造し続
けている米国のIT産業は
海外から集まる優秀な移民
によって成り立っている。
グローバル化の恩恵を受
けて米国経済は拡大し続け
たが、その狭間にあつて取
り残されたのがトランプ氏
支持の白人労働者だ。従っ
て、現在トランプ氏の最大
関心事は彼らに職を与える
ことである。特に自動車
には関心があるようで、貿
易不均衡の問題では日本の
自動車産業に色々と注文を
出してきた。米国車に
対して日本での関税障壁は
無い。しかし、日本の道路
事情と燃費の問題を考慮さ
ずに、米国車が売られてい
ないのは円安のせいだと主張
しているようだ。

今週、安倍首相がトラン
プ大統領と首脳会談を行
う。同氏の日本理解が深ま
ることを願うばかりだ。

(可児 晋)

全国道場・団体連絡会議

全国道場・団体連絡会議は、1月7日午後2時半から本部道場3階にて行われ、金澤威（公財）合気会総務部長の司会で進められた。

植芝守央道主より「新年新たな気持ちで皆様方迎えられたと思います。私も新たな気持ちで迎えました。昨年合気道を振り返りますと大変素晴らしい普及振興をし



道主による挨拶

てきたことが感じられました。それは世界各国の合気道の会員の皆様、今日いらっしゃる全ての方々のお力によるものだと思っております。たとえば色々な事が起ころうとも稽古を通じて養った開祖の作られた精神、それを少しでも理解して続けていくことが大切だと思います。是非今年1年そういう気持ちを持って皆様と共に歩んで行くことが大事だと思います。また、今日お集まりの皆様方にはこの素晴らしい合気道の普及振興を更なる気持ちを持って進んで頂ければと思います」と挨拶。次に植芝充央本部道場長が議長に選出され議事が進行された。

まず金澤威（公財）合気会総務部長より「平成28年の（公財）合気会主要行事報告、平成29年の（公財）合気会主要行事予定の報告、宮本鶴蔵全日本合気道演武大会実行委員長より全日本合気道演武大会について「第54回大会についての御礼・報告、第55回大会についてお願い」、桂田英路（公財）合気会本部道場少年部担当より全日本少年少女合気道錬成大会の報告、尾崎响全日本合気道連盟理事長より全日本合気道連盟からの報告として「事業報告、事業計画」、小山雄二（公財）合気会学生担当より全国学生合気道連盟からの報告として「平成28年度の行事報告、来年度のお願い」、井出啓之全国高等学校合気道連盟理事長より全国高等学校合気道連盟から「事業報告、今年の予定、全国高等学校合気道演武大会の参加の呼びかけ」の報告がされた。

その他の事項としての連絡で、金澤威（公財）合気会総務部長より本部からの連絡、次に茨城支部道場からの連絡として、平成28年の行事報告、平成29年の行事予定（合気神社大祭の清掃参加のよびかけ等）が稲垣賢賢（公財）合気会茨城支部道場総務部長より報告された。



道主による総括のクラス

指導者講習会に101名が参集

講習会には北海道から広島までの40歳以下の二段から四段の指導者及び次期指導者ら101名が参集した。21日の開講式にあたり、（公財）合気会理事長である植芝守央道主より「全国より多くの指導者の皆様がお集まりにいただきありがとうございます。2日間という限られた時間ではございますが、本講習会で合気道の基礎・基本を確認し地元での稽古、指導に活かしていただきたいと思っています」と主催者挨拶。続いて講習会講師として植芝道主、立木幸敏国際武道大学教授、金澤威本部道場指導部師範、櫻井寛幸同師範、桂田英路同師範が紹介された。

開講式に続いて植芝道主による講演・稽古が大道場で行われた。植芝道主は始めに（公財）合気会が提唱している「合気道倫理憲章」と「行動規範」、「合気道練習上の心得」について説明された。全都道府県で活動の軸となる連盟が発足し、今後の社会状況で正しく合気道を普及するにあたり、道場の責任者、指導者として遵守すべき内容であると説明。また「合気道練習上の心得」においては作成的な時代背景を踏まえ解説され、開祖吉祥丸二代道主から続く合気道の歴史を講演された。次に立ち方や座り方、運足等の基本動作を説明。参加者と共に基本の動作を確認した。続いて正面打ち第一教、片手取り四方投げ、諸手取り呼吸法など、基本技を中心に指導。技の根幹を為す姿勢や間合いについて一つ一つ丁寧に説明された。次に金澤師範による実技①「入門から五級までの指導法」の講習が行われた。基本の運足と運足の組み合わせによる体捌きを確認。また受身の段階的指導方法を提示した。続いて五級の審査技となる片手取り四方投げを互いの結びを意識して指導。正面打ち第一教、正面打ち入身投げは正面打ちの前段階として、相半身片手取りを交えながら指導。

次に櫻井師範による実技②「四級から三級までの指導法」の講習が行われた。櫻井師範は横面打ちの捌きを中心に横面打ち四方投げ、肩取り第二教を指導。半身の崩れや自分の中心で力を出すように注意しながら指導するように強調した。正面打ち小手返しや両手取り天地投げでも入身と転換の体捌きの中で腰が引けないように指導するようにと指導した。

22日は朝6時より櫻井師範による呼吸法の稽古が行われ、片手取り呼吸法と諸手取り呼吸法を稽古。8時15分から立木教授による「熱中症について」の講習が行われた。植芝道主は2日間の講習の最後は植芝道主による稽古で締めくくられた。植芝道主は2日間の講習の総括として、入身投げ、四方投げ、小手返し、回転投げ、第一教等の普段稽古している技を正面打ち、横面打ち、片手取り等の様々な取り口で示範された。本講習会を通して指導のあった体捌きや受身、取りと受けの関係、更には初心者への指導・配慮などの一つ一つを丁寧に確認しながら稽古するよう強調。参加者は本講習会の内容を確かめながら、存分に汗を流した。

閉講式では主催者を代表して植芝道主が挨拶。最後に参加者を代表して大阪府の吹泉館から参加した溝尾律氏に植芝道主より修了証が授与され、盛会のうちに講習会は終了した。



道主より証書が授与された



食堂で行われた食事会

1月15日より茨城支部道場で証書授与式が開催された。それに先立ち、合気神社月例祭が行われ、植芝守央道主のもと茨城支部道場の会員約40名が参拝した。月次祭の後証書授与式が行われ、昇級、昇段した会員が道主から賞状を授与された。場所を移し食事会が開かれ、磯山博茨城支部道場相談役の挨拶、その後道主から年頭の挨拶があり「今年初月例祭、皆さん

と参拝し、心を新たに頑張っていきたいと思っております。それぞれの方が稽古を積んだうえで、合気道の心を理解して社会に貢献していくのが私達のやるべきことだと考えております。皆さん今年も日々の稽古を大切にしてこれから1年しっかりとやっていきましよう。」と述べられた。次に植芝充央本部道場長の司会で進められ、会は滞りなくく和やかに終わった。

茨城支部道場で証書授与式



若手の講習とあってキビキビ動いていた

若手の講習とあってキビキビ動いていた。講習会では、指導者となる人材の育成のために開催された。本道場の責任者、指導者として遵守すべき内容であると説明。また「合気道練習上の心得」においては作成的な時代背景を踏まえ解説され、開祖吉祥丸二代道主から続く合気道の歴史を講演された。次に立ち方や座り方、運足等の基本動作を説明。参加者と共に基本の動作を確認した。続いて正面打ち第一教、片手取り四方投げ、諸手取り呼吸法など、基本技を中心に指導。技の根幹を為す姿勢や間合いについて一つ一つ丁寧に説明された。次に金澤師範による実技①「入門から五級までの指導法」の講習が行われた。基本の運足と運足の組み合わせによる体捌きを確認。また受身の段階的指導方法を提示した。続いて五級の審査技となる片手取り四方投げを互いの結びを意識して指導。正面打ち第一教、正面打ち入身投げは正面打ちの前段階として、相半身片手取りを交えながら指導。

次に櫻井師範による実技②「四級から三級までの指導法」の講習が行われた。櫻井師範は横面打ちの捌きを中心に横面打ち四方投げ、肩取り第二教を指導。半身の崩れや自分の中心で力を出すように注意しながら指導するように強調した。正面打ち小手返しや両手取り天地投げでも入身と転換の体捌きの中で腰が引けないように指導するようにと指導した。

22日は朝6時より櫻井師範による呼吸法の稽古が行われ、片手取り呼吸法と諸手取り呼吸法を稽古。8時15分から立木教授による「熱中症について」の講習が行われた。植芝道主は2日間の講習の最後は植芝道主による稽古で締めくくられた。植芝道主は2日間の講習の総括として、入身投げ、四方投げ、小手返し、回転投げ、第一教等の普段稽古している技を正面打ち、横面打ち、片手取り等の様々な取り口で示範された。本講習会を通して指導のあった体捌きや受身、取りと受けの関係、更には初心者への指導・配慮などの一つ一つを丁寧に確認しながら稽古するよう強調。参加者は本講習会の内容を確かめながら、存分に汗を流した。

閉講式では主催者を代表して植芝道主が挨拶。最後に参加者を代表して大阪府の吹泉館から参加した溝尾律氏に植芝道主より修了証が授与され、盛会のうちに講習会は終了した。

合気道探求53号発売

- ・道主対談 富岡賢治高崎市長
- ・合気道ゆかりの地をめぐる 京都府綾部市
- ・第12回国際合気道大会
- ・第38回全国少年少女合気道錬成大会
- ・第15回全国高等学校合気道演武大会
- ・誌上講習会 片手取り四方投げ 表
- ・正面打ち第一教 裏

「維持会会員」へのおさそい

日頃から格別のご理解とご厚意を賜りありがとうございます。

（公財）合気会では合気道のより一層の普及発展をはかるため「公益財団法人合気会 定款」にもとづく「維持会会員」へのお誘いを致しております。つきましては、賛同頂きご後援・ご援助を賜ることができましたら幸甚でございます。

記

- （1）賛助会員 この法人の目的に賛同し、事業を援助するために維持会費として
年額1口2万円 1口以上を納める個人および法人又は団体
- （2）特別会員 この法人の目的に賛同し、この法人を後援維持するために維持会費として
年額1口10万円 1口以上を納める個人および法人又は団体

お申し込みは（公財）合気会事務局まで



寒稽古に92人が快汗

恒例の本部道場寒稽古は、1月23日から2月1日までの10日間に行われ、植芝守央道主をはじめ、植芝充央本部道場長並びに各本部道場指導部師範の指導のもと、会員は汗を流した。

10日間休まず稽古をした皆勤者には、証状と恒例の記念品である道主直筆の手ぬぐいが授与された。皆勤者からは「今年の寒さは特に厳しかったので、仲間と励ましあってモチベーションが保てました。道場に来ると先

すが、仲間と励ましあってモチベーションが保てました。道場に来ると先

昭和60年から海外指導が始まる。平成13年オクラ

武道優良団体表彰を受けて、

第28回 多田宏師範 特別講習会

「第28回多田宏師範 特別講習会」を下記の通り開催します。奮ってご参加下さい。

記 日 時

平成29年3月26日(日)

午後2時～5時(13時45分より準備運動を行います)

会 場

本部道場 3階道場

会 費

3000円

稽古内容

① 氣の錬磨の内容
② 基本技と応用技
③ 剣杖技と武器取り

持 ち 物

木刀、杖をお持ちの方はご持参下さい。

申込方法

当会受付にて所定の申し込み用紙に必要事項を添えてお申し込み下さい。

締 切

3月21日(火) まで

公益財団法人 合気会

平成29年 武道館鏡開き

(公財)日本武道館主催の「平成29年鏡開き式・武道始め」は1月9日(成人の日)、東京・九段下の日本武道館で行われた。



道主を中心に右より鈴木茂愛媛県連参与、橋田県連会長、荒井俊幸・山徳道場師範、植芝本部道場長

彰式が行われた。これは長年に亘り全国又は地域、職域において武道の普及、振興に寄与した個人と団体を対象にするもので、合気道では武道功労者として荒井俊幸山徳道場師範、武道優良団体として愛媛県合気道連盟が表彰された。

昭和33年11月15日父の死と親友の自殺を契機として、合気道入門の為本部道場を訪れた所、二代道主・吉祥丸先生が迎えて下さった。朝6時半からの稽古に休まず通う事に決めた。

昭和49年3月群馬で始めて合気道専門の山徳道場開設、昭和54年・第1回群馬県合気道連盟演武大会を開催。

高崎駅前素晴らしいアリーナを建設するけど、柿落として世界大会をやりたいので何とか成らんかね」と頼まれた。たまたま5月の全日本大会に出席し招待席に座った所、隣がI・A・F会長のP・ゴスベリーで氏であった。早速高崎市長から依頼の話をした。道主にアポイントを取りご挨拶方々市長から依頼の件を伝えた所、すぐ四代目・充央道場長を呼んでくれた。次に全日本連盟・尾崎理事長にも伝えた所、充央道場長を中心に関係者のミーティングに入り富岡高崎市長に直接話を聞くことになった。

有史以来初めて海外70ヶ国2000名を超える外国人が1週間高崎市に集い、最終日に市長の挨拶や各国の代表の演武があり、私も80才にして有終の演武をさせて頂いた。

今もこうして元気に稽古できるのも合気道のお陰と有り難く、関係各位に感謝・感謝の余生である。

武道優良団体表彰を受けて、

郡山、45周年記念講習会
私(小林)は昨年11月20日、郡山合気会(熊田喜一郎会長)創立45周年記念講習会に、講師として派遣された。

講習会後、同市内のベルヴィ郡山館に会場を移し、記念祝賀会が開催された。祝賀会には品川萬里郡山市長、根本匠衆議院議員をはじめ、沢山の来賓をお迎えし、約2時間盛大に行われた。

熊田会長からは、同会の歴史や、懐かしい思い出が話され、45年の長さを、改めて感じさせられた。



小林師範の指導

アップに精進しております。さらに、平成25年11月には連盟設立10周年を記念して、本部道場長植芝充央先生による特別講習会を開催することができました。

その後、平成27年10月には初の試みとして地域社会武道(合気道)指導者研修会を愛媛県武道館にて開催し、本年度も2月18日(土)・19日(日)に実施する予定です。

特に今年は、第72回・国民体育大会が愛媛県で開催されます。愛媛県合気道連盟におきまして7月30日(日)に今治市営中央体育館を会場にデモンストレーションスポーツとして、合気道演武大会、合気道体験コーナーを実施します。私たち合気道は武道であることから「最小限の力で最大限の効果を上げる動き」の一端を具現化出来る様な稽古であったこと、「押し付けられたものは覚えにくい。何事も自分で求めていくことが大切である」との考えより、如何に効く技となるかを考えさせる丁寧にして意義深い稽古となりました。

特に、磯山師範のかけられる技を表面だけ見ているのではなく、全員の身体が一体となって努力していく所存です。ご支援いただきました皆様方により御礼申し上げます。

これから合気道の輪を広げるために、全会員が一体となって努力していく所存です。ご支援いただきました皆様方により御礼申し上げます。

小牧合気会演武大会は、第55回小牧市民体育大会合気道の部として、昨年10月23日に小牧市武道館で開催した。小学1年生から一般社会人まで約1000人が参加し、父兄等多数の観覧者が見守る中、小学生の部は元気正ししい技を中学生、一般の部では、心・技・体の一致した演武を披露した。普段指導する有段者が不安げに見守る中、今年4月から始めたばかりの子から何年も続いている子まで皆一生懸命であった。いつもの稽古通りに技を繰り出した子、緊張して上手くできなかった子、いつもはふざけてばかりだけど今日だけは真剣だった子など、子供達の性格を覗かせながら楽しい演武大会であった。最後に師範演武を披露して頂き、大会を締めくくった。(小牧合気会 長谷川敬)

演武大会賛助会費のお願い

(公財)合気会では「第55回全日本合気道演武大会」の開催に際して賛助会費のお申し込みを下記のようにお願いしております。

記

会 費: 1口(1万円)以上

申込先: (公財)合気会

〒162-0056 東京都新宿区若松町17-18

電話 03(3203)9236

三井住友銀行新宿通支店 当座1015007

郵便振替 00150-0-49527

公益財団法人 合 気 会

東南アジア巡回指導

ブルネイ

私（難波）は、昨年12月8日から13日までブルネイ・ダルサラーム国の首都パ

港では、4年前と同様の懐かしいメンバー、ブルネイ合気道連盟（IBF）会長アマド氏、指導者のサフツ氏、チョン氏の出迎えを受けた。

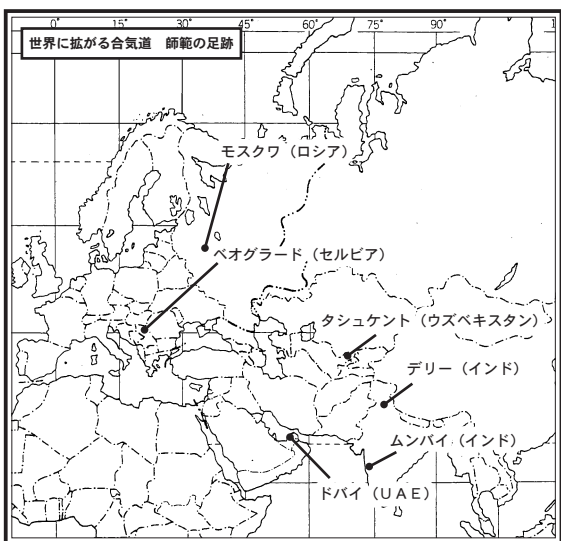
巡回指導の指導員として派遣された。今回、私にとつて2度目のブルネイ訪問であり、8日ブルネイ国際空

港では、4年前と同様の懐かしいメンバー、ブルネイ合気道連盟（IBF）会長アマド氏、指導者のサフツ氏、チョン氏の出迎えを受けた。



難波師範とブルネイの会員

港では、4年前と同様の懐かしいメンバー、ブルネイ合気道連盟（IBF）会長アマド氏、指導者のサフツ氏、チョン氏の出迎えを受けた。



世界に広がる合気道 師範の足跡

デリー

私（桂田）は、昨年12月15日から21日まで東南アジア巡回指導の一環としてインド・デリーの講習会に派遣された。2時間の稽古を計5回、20名ほどが集まった。本部道場の朝稽古で長年稽古されたカー・パリトス氏が代表を務め、朝、夜

ムンバイ

私（藤巻）は、昨年11月17日から22日まで、講習会指導、審査、演武会のためインド共和国のムンバイを訪問した。

セルビア

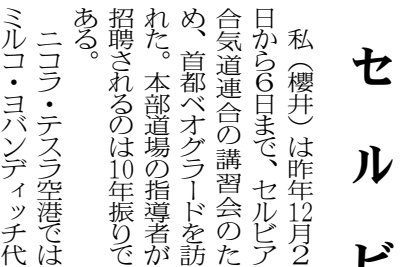
私（櫻井）は昨年12月2日から6日まで、セルビア合気道連盟の講習会のため、首都ベオグラードを訪れた。本部道場の指導者が招聘されるのは10年振りである。

ウズベキスタン

私（桂田）は昨年11月24日から29日まで、ウズベキスタン・タシュケントにあるAACC（合気会アソシエーション合気道クラブ）の冬期講習会の指導に訪れた。

露モスクワ

私（佐々木）は平成28年12月15日から18日までロシ



私（小林）は昨年12月14日まで、UAE合気会（チーセル・バイラム四段）講習会指導の為、UAEのドバイに派遣された。

また期間中、昇段審査が行われ、四段1名、初段1名がそれぞれ合格、昇段した。

参加者はドバイ合気会、アフタビ合気会、トラフィショナル合気道、サクラ合気道の会員約80名。海外からは、サウジアラビア、米

国からの参加があった。同会の歴史は浅く、技術的にはこれからであるが、会員は皆熱心で、今後が期待される。

今回の2回目の訪問であったが、中東の独特な雰囲気にも段々慣れ、他国と同様に講習を行う事が出来た。（本部道場指導部師範 小林幸光）

私（桂田）は昨年11月24日から29日まで、ウズベキスタン・タシュケントにあるAACC（合気会アソシエーション合気道クラブ）の冬期講習会の指導に訪れた。

25日から27日まで1時間の稽古が5回行われ、大

私（佐々木）は平成28年12月15日から18日までロシ

私（藤巻）は、昨年11月17日から22日まで、講習会指導、審査、演武会のためインド共和国のムンバイを訪問した。

この演武会は、全インドで貧困にあえぐ子供に教育と水を提供しようという、チャリティ・イベントの一環であった。観衆は300人程。

演武内容は始めに合気道オプムンバイ代表のDBライ式段が基本技を行い、次

にテリーから参加のパリトス5段が応用技を演武し、最後に私が基本、応用技を織り混ぜて行った。

合気道を初めて見るという観衆が殆どだったが、日本そのものに対する興味を肌で感じた。

講習は週末を利用してムンバイアメリカンスクールで行われ、81名が参加し、そのうち7割が初心者であった。

1時間半の稽古を3回行ったが、ほぼ全員が皆勤し、熱心に技に関して質問して来るものも多かった。

日曜日の午後には、昇級昇段審査も行われ、五級3



名、四級1名、三級1名、二級4名、初段3名、武段5名、と幅広く受け合格した。今回の行事には開催地ムンバイはじめ、ニューデリー、プネー、アンホリ、チェンナイ、ハイデラバードと広域からの参加があった。中には電車を20時間以上乗り継いで来た者もあり、合気道に対する興味と熱意は大きかった。

インドは現在、経済的に苦しい状況にあると聞いたが、合気道はこれから伸びる可能性を秘めていると感じた。（本部道場指導部師範 藤巻宏）

フランスに合気道を広めた開拓者、七人の植芝門下を讃える会

趣旨：今日、合気道は世界130ヶ国以上に広まり益々発展しております。しかし、第二次世界大戦直後の1951年に始まった文化の異なる世界への合気道普及の道は、容易なことではありませんでした。この度時を得て、あらゆる困難を乗り越え、合気道の発展に尽くした同門の方々望月稔、阿部正、中園睦晴、村重有利、野呂昌道、田村信喜、アンドレ・ノケの諸氏を讃える会を催すこととなりました。（日本人はフランス入国順）

主催：フランス合気道の開拓者を讃える会
共催：合気道開祖植芝盛平先生、植芝吉祥丸先生顕彰会inヨーロッパ（仮称）
日時：4月22日（土）パリ 日本文化会館
午後3時 讃える式、茶の会、演奏、舞。
午後7時 晩餐会（有料）Hotel Intercontinental Paris Le Grand
4月23日（日）パリ Institut du Judo, Shozo Awazu Dojo
午前9時半 気の鍛磨、
午後1時 日本舞踊講習
午後3時 植芝盛平先生の杖を学ぶ会
会費：無料（晩餐会は有料：150ユーロ）。
両日とも会場の都合で入場人数に制限がありますので、参加者はemailによる「入場会員番号」の所得が必要です。
詳細は下記ホームページをご覧下さい。
責任者：合気会本部師範 多田宏
パリ事務 服部恵美子
問い合わせ tadashi.han.stage@gmail.com www.aikido-tadashi.han-paris.com

時間半から3時間の稽古が計5回行われ、同連盟傘下の16道場（モスクワ、ヒムキ、セレンクグロード、ソチ、アルマビル、ドネツク、トゥーラ、ヴォルゴグラード、ペルム、サレハルド、アディエール、ボロヴィチ、ケルチ、リベツク、ロストフ、オンドン、ヴィドノエ）の他、ベラルーシのミンスクから一般・少年会員達合わせて約275名が参加した。今回で4回目の同連盟への訪問であるが、初回に比べて参加者数が3倍に増え、また若年層の有段者達が将来の指導者として責任感を持って講習会の運営に積極的に携わりながら稽古に臨んでいる姿も確認でき、同連盟が順調に発展してきていることが伝わってくる講習会となった。

寒中お見舞い申し上げます

会 心 会			
会長	小野 浩	副会長	藤谷 護人
幹事	清沢 昭一	山嶋 武	中村 文子
松田平三郎	勝田 芳雄	東城 あさ	広瀬 篤
大沢 正一			

平成29年推薦昇段者

【八段】
鳥海幸一、阿出川清、R.Nadeau、F.Doran、
W.Witt、浦田敏晴、関戸章弘、E.Hagihara

【七段】
根本博喜、辰巳勝彦、水戸豊、鈴木孝、
西馬修、嶺岸正樹、岡本登、飯尾守平、
福田雅春、横山永、沼田秀輝、田中祥二、
高木清次、中嶋泰、不動俊樹、A.Sato、
伊藤純逸、上野満広、佐藤紀男、市村一
義、沖康夫、戸田実、入江嘉信、菱田司
朗、藤巻宏、渡辺茂男、堤孝行、野島正
雄、大川雄次、西村定夫、P.Lee、R.Filip-
pin、D.Jocic、G.Philippe、J.Nakayama、
D.Bluhm、L.Dianne、G.Nomura、K.Varjan、
E.Lynn、C.Crane、C.Tseng、F.Warlet、J.
Horny、L.Thieghem、L.Borje、M.Moreno、
R.Heckler、H.Ng、J.Rojo、P.Brady、P.Smith、
G.Hayward、W.Bull、王武雄、潘清禄、
張漢東、三木和博

【六段】
金子善忠、長谷川洋子、三由敏雄、西川
正信、島田健一、近藤厚男、田代義明、
帖地洋、池田信城、吉井昭宏、仲田信博、
小川俊介、小山一敏、平林裕好、三次武
徳、塩澤克利、南敬二、斉藤博、寺田克
弘、根岸美穂子、石井治夫、王仁吉、浅
田美子、山岸正典、女鹿喜治、佐々木恭
一、田中真人、御代川泰久、金子裕二、
鈴木雄大、藤谷護人、山川容永、曾根秀
行、塩谷貴弘、今野眞悦、本間雅富、角
谷篤美、末廣業太郎、的場弥生、戸田亮
治、小川豊、新井真人、山脇一成、河野
勝行、高梨重亮、白木徹、大槻充、池田
昭一、上野千和子、山脇久嗣、畦地稔生、
小倉義典、田上明美、阿部昌彦、内山紀
男、國松貞彦、大木修和、鳥羽和興、大
橋道弘、尾村忠男、黒木高志、江口武正、
野倉昌子、橘保弘、吉野勝久、大平拓哉、
I.Williamson、A.Roberts、D.Gilmore、S.Puf-
fett、P.Sinkinson、K.Allen、M.Boss、D.
Knab、R.Mckinney、S.Smith、R.Lopez、
C.Santos、J.Calo、D.Pierre、R.Ott、V.Tagi-
rov、Z.Gadzhiev、K.Petermann、S.Obrado-
vic、E.Fornari、A.Smith、K.Lundsgaard、
B.Smith、G.Kimoto、M.Ashwell、D.Millar、
D.Hanson、M.Adachi、G.Small、J.Blitz、
A.Nakamura、M.Turner、E.Lee、M.Maria、
S.Leif、R.Zuberbuhler、C.Venard、M.To-
dorov、D.Toultchinski、B.Robertson、J.
Overlaet、H.Virkki、G.Fripp、R.Treyde、
R.Delcos、P.Greenwood、M.Bachraty、M.
Seye、J.Escobar、A.Adamski、Z.Reguli、
M.Mlynar、C.Himmelhuber、E.Boye、N.
Schoenenberger、U.Wilhelm、H.Haederli、
U.Aeppli、I.Ozgun、G.Perez、F.Silvano、
C.Funck、佐野浩一、永島義道、青柳敏
弘、工藤晴夫、平野幸一郎、海老原章、

南澤乙亥、鈴木誠、千葉勝正、小澤誠、
熊谷欣也、平澤憲次、阪口雅英、南方真
治、佐藤昇、岐山雄一、山澤章男、高野
克久、鈴木康弘、白川竜次、北嶋貞好、
嶋田一郎、高山数芳、T.Birger、C.Dimitri、
D.Christophe、K.Bauer、L.Graham、J.
Graves、K.Meno、D.Crampton、D.Jamsek、
J.Kahn、J.Vazquez、B.Spruell、C.Mensh、
S.Silberstein、J.Shaw、R.Yurcich、A.Soares、
A.Mimouni、D.Cagnet、J.Fernandez、中
津川雅子、N.Rudneva、J.Magal、N.Takay-
anagi、A.Ferreira、S.Magson、D.Coneggo、
太田裕之、熊澤美裕紀、盛稔、X.Rosello、
M.Prieto、長崎恒義、高橋昌博、可児晋、
圖師守和、山ノ井和哉、J.Sandoval、S.
Thoms、V.Tome、M.Kessler、C.Hackett、
N.Remkes、K.Matzaras、R.Moline、M.Ruiz、
O.Virgilio、D.Lucero、X.Baylon、黄辯儀、
R.Reolon、L.Keuvelaar、R.Roberts、A.Diaz、
鈴木雅美、桐山邦弘、L.Guillermo、H.
Selimi、C.Buenaseda、F.Bertini、A.Olmelli、
R.Ishibashi

【五段】
島田三男、富田早苗、太田博子、野田和
宏、藤村努、内木栄治、石田祐之、田中
直樹、長江洋子、年岡守、千吉良健太郎、
大塚重樹、劉純強、岡田広美、峠元成夫、
北田良一、安光勇人、太田和宏、片岡武
夫、谷口梅野、朝倉一、梅井工、飯田桂
子、本澤三智子、東口文博、徳田豊美、
片倉勝己、高橋靖二、浅野幸宏、松岡美
香、北脇八寿友、太田吉彦、戸倉光明、
檜山敬司、松尾雅時、松島美江、鈴木和
信、金子智朗、高須賀勲、前川友子、兼
子功、五十嵐隆雄、玉置恵啓、岡田栄二、
衛藤久美、白吉信明、鈴木健司、竹内臣
也、川原正、浅村敏雄、堀井誠、竹中頭
嘉、氏原恵美、白井督将、富地和範、齋
藤文博、山崎敦、蝦名裕子、森桂一郎、
神宮勝美、佐々木孝治、磯山裕、石澤勇
司、新家利子、小笠原陽一、野村斉、田
中諭、山田詩朗、蠣崎裕、白井成幸、伊
藤広芳、平井隆昭、安井宣雅、瀬戸勇、
近藤泰徳、高橋邦彦、植松敦、松原雅代、
菊川誠、吉田豊、渡邊正幸、小島むつき、
嶋津多三市、山本紀明、村上隆平、池田
信、栗崎文彦、岡田元晴、佐藤まゆみ、
熊谷優範、山本幸造、堺和彦、黒川潔、
岩本純一、阪口誥士、藤田孝之、尾上壽
一、マッコネル・アーロン、阿形英之、
C.Moisson、J.Molnar、A.Veselov、R.
Chavez、G.Rekai、C.Versaci、A.Paul、D.
Fernandez、A.Valladares、G.Voussure、P.
Volochyn、A.Dominguez、G.Figueroa、F.
Raez、J.Montero、K.Ruschel、S.Gnatiuk、
F.Criti、G.Fetonti、F.Benouali、C.Russo、
J.Burns、G.Collins、S.Kwong、M.Collins、

E.Penny、D.Wong、P.Siameja、D.Hall、
M.Johnston、A.Pearson、U.Bird、E.Graf、
R.Abdullaev、P.Golovach、I.Kushelevich、
M.Goodman、B.Hodge、S.Reed、O.Kudri-
avtsev、E.Martini、E.Martinez、I.Hannari、
P.Farber、C.Moseler、K.Getchev、A.Hurlin、
L.Nagata、S.Almaraz、B.Shpilev、I.Galimov、
G.Susa、S.Sheremetyev、F.Lee、A.Aw、
S.Ng、R.Shannon、C.Jaeger、G.Meehleib、
F.Silvey、G.Izaguirre、L.Razzano、D.Mcin-
tyre、E.Johansson、E.Haag、T.Kuijl、S.
Winkelman、S.Tolchinsky、Y.Sadovnichiy、
B.Ho、C.Calatayu、L.Obligado、D.Chern-
yaev、A.Antunes、V.Sicali、F.Burnay、P.
Moulagiannis、V.Gianascio、M.Kostic、D.
Kuzmanovic、L.Hejja、P.Buric、S.Wong、
A.Maigour、L.Medan、P.Medan、C.Bouk-
henter、A.Schneider、K.Doyle、J.Tulling、
G.Zahno、D.Jablonskis、E.Indra、A.Esfah-
hani、陳徳明、D.Mcspadden、S.Deskin、
C.Lewallen、V.Oncea、R.Rondan、I.Zakhare-
vitch、I.Petrov、G.Thomas、J.Emmerson、
C.Matrasko、T.Stenzel、E.Henkels、K.Purdy、
J.Klopp、L.Libby、J.Lewis、D.Peelle、J.
Scanlan、M.Olszewski、L.Nusbaum、B.
Healy、J.Klar、L.Bowman、N.Carleton、
T.Alpert、B.Brown、D.Ellingsworth、K.San-
dacz、G.Hagen、T.Trzaskos、B.Scott、J.
Czerniachowicz、A.Augusciak、J.Faure、
R.Arvin、D.Capes、P.Bayet、M.White、
N.Doyle、P.Blockx、F.Gallego、P.Rozier、
A.Gonzalez、J.Andre、D.Sobolev、I.Toth、
R.Kapustik、M.Peter、H.Melchior、S.Dez-
elski、G.Grosse、S.Humbert、G.Blanc、C.
Bucher、H.Panahzat、G.Adham、S.Mar-
goushi、A.Etman、K.Taha、V.Cakmakci、
Z.Akilli、D.Leczycki、A.Skorikov、K.Rekk、
C.Ziesenitz、J.Mchugh、A.Lionel、E.Fre-
deric、E.Hirvonen、P.Sarkisaari、D.Steven-
son、F.Kemler、S.Nekhaevski、G.Thierry、
B.Tan、C.Lim、J.Giske、S.Engstad、L.
Mcquillan、F.Andreas、H.Kanellis、V.
Milenkovic、G.Varkonyi、M.Dupont、M.
Bush、増田英治、長谷川啓義、吉野茂
樹、阪本一馬、桜井真樹子、佐藤健次、
隅木直也、光定智子、奥村猛、平田浩一、
上村恭徳、秦昌志、海老原弘一、塩尻忠
臣、若山征志、芝野哲次、小田嶋誠治、
百瀬房継、諏訪智、岡雅仁、高橋秀男、
小林建、桜井茂、斎藤孝男、山口裕之、
目良正成、鈴問孝臣、清水泰子、堂坂晶
弘、鎌塚拓夫、奥野紘規、市橋義博、國
井信明、橋口賢一郎、束元健司、園田誠、
内田九七三、青山一、室田正道、佐藤崇、
伊東繁雄、松本義則、梅田佳一、岩井崇、
宮崎祐輔、古賀行治、西山聡司、五十嵐
清貴、鈴木暁、坂本太子、花房学、赤石
博文、田内昭、山崎博司、前田紀子、A.
Javier、M.Ogris、M.Toplitzer、T.Laisi、L.
Colalillo、P.Saager、D.Rolli、M.Haass、P.
Osuchowski、D.Rose、C.Reiss、P.Suyl、
P.Janssen、C.Landise、N.Birdsong、V.Ancer、

S.Beisert、J.Murray、J.Sampayo、D.Grant、
R.Gonzalez、R.Hyatt、H.Albright、L.Ozen-
berger、M.Pellegrino、J.Zimmer、D.Scioli、
A.Zdravkovic、D.Stamenkovic、V.An-
tontchouk、G.Pospekhov、D.Potekhine、S.
Zlatev、R.Ausmees、M.Verd、F.Aldeguer、
J.Bayliss、M.Trisnurizki、D.Wattelle、N.
Belghachem、X.Dufau、E.Arai、C.Bueno、
K.Montgomery、W.Smythe、設楽英幸、
大居信人、荒川洋平、海老原満、豊田竜
王、高浜一枝、石井基雄、A.Blevins、R.
Malic、P.Jukic、A.Haan、P.Keessen、T.Nord、
D.Zaitsev、G.Zapryagaev、L.O'Donoghue、
R.Beck、G.Zorrilla、R.Villanueva、J.Carrizo、
岡田義美、勝野寧隆、杉原亮、福島政幸、
丸山明良、山下高弘、北村功一、佐藤明、
S.Saydaliev、M.Klimkov、M.Flamm、C.
Schmidt、N.Murphy、B.Dupont、P.Halpern、
A.Fisher、野崎浩司、梅田正宏、石黒寛、
S.Kirienko、J.Sagone、E.Ansemil、J.Valla-
dares、上野直毅、柴田幹士、畦地英明、
阿部亨、足立和美子、北村薫、加藤淳子、
内古閑佳奈、和田頼子、L.Jensen、P.Jakob-
sen、T.Glaesner、S.Howard、M.Lapointe、
D.Dias、K.Ellwood、T.Suder、R.Hummer、
L.Centurion、J.Alvite、R.Reyes、I.Fioravan-
tiJr、Z.Kolev、R.Hellal、C.Maallem、F.
Gaetan、池田秀作、大滝雄志、B.Chong、
S.Ng、D.Reinfeld、川阪宗訓、加藤彰、
C.Koutelieris、野村美佐、H.Valencia、岩
井友子、清宮聡、磯崎恵子、A.Bolzoni、
L.Lucotti、M.Aleandri、A.Conventi、F.Nano、
G.Galani、R.Traversi、I.Rigoni、R.Zamper-
lin、A.Scafuto、C.Susca、A.Metta、N.Bu-
cataru、R.Bulzomi、M.Cengiz、G.Laszlo、
B.Laszlo、B.Peter

【四段】
榎戸芳雄、原伸次郎、大久保竜平、横尾
廣美、岩尾剛幸、篠本由起子、中嶋敬三、
小澤正近、笠井雅弘、齋藤誠、山上三一、
E.Yara、H.Andersson、A.Doherty、J.Wo-
darczyk、R.Small、里館潤、J.Lifshitz、D.
Cheetham、小野祐二、佐藤邦子、A.Cesi-
unas、A.Leong、F.Doeselaar、M.Kaabi

【参段】
首藤康年、工藤喜助、近藤英彦、金子マ
リ子、赤塚正坦、三浦英一、岡村伸一、
南啓子、橘明子、高橋照彦、朱通祥男、
柴田弘之、R.Svetlichnov、L.Rapoport、A.
Stateczny、久米正人、多田政生、松村光、
N.Ermoshkin、D.Nicol、J.Lagowski、D.Al-
exander、D.Prokop、渋澤福男、森本明
宏

【貳段】
近藤礼子、中田勇、稲積禎之、J.Koivisto、
O.Aviv、D.Libon、長谷部正明、松本浩
一、S.Rioux、M.Richardson

【初段】
山崎慎太郎、宇井浩之、金村善弘、牧口
征弘、東郷芳朗、秋山鐵夫、Y.Mesh-
chryakov、A.Alwadani、R.Coker

岐阜一元会

岐阜一元会は、平成28年
11月13日、岐阜県大垣市武
道館で、桂田英路本部道場
指導部師範をお招きし、講
習会を開催致しました。

昨年に続き、合気会本部
道場から師範をお招きする
のは2回目の講習会とな
り、県外からも合わせて約
90名が参加しました。他道
場の方と一緒に稽古が出来
たことは、会員にとつても



良い刺激となりました。
講師の桂田師範より、杖
やタオルなどを使ってわか
りやすく理論をご教授いた
だきました。会場を回りな
がら熱心到手ほどきされる
桂田師範から、少しでも多
くを学ばうと真剣な参加者
の皆さんが印象的でした。
腰を切り「ため」を作っ
てから身体全体で技を掛け
る動かし方は、日ごろの道
場では稽古出来ない貴重な
体験となり、今後の稽古で
生かせるよう精進したいと
思います。

◇本部だより

▽東南アジア巡回指導の一
環で小山雄二指導部員は、
2月16日から20日までイン
ド、難波弘之指導部師範は、
2月24日から26日までベト
ナム、内田直人指導部員は、
2月24日から27日まで、ラ
オス、櫻井寛幸指導部師範
松村光指導部員は、2月23
日から3月4日までに派遣
される。

▽藤巻宏指導部師範は、2
月15日から20日までウクラ
イナの講習会に派遣され
る。

▽伊藤眞指導部師範は、2
月15日から20日までサウジ
アラビアの講習会に派遣さ
れる。

▽鈴木俊雄指導部員は、2
月17日から28日まで、ハワ
イの講習会に派遣される。

▽菅原繁指導部師範は、2
月23日から3月1日までイ
ギリスの講習会に派遣され
る。

大宮久喜

合同講習会

大宮道場・久喜合気道会
合同講習会は、昨年11月27
日に埼玉県久喜市総合体育
館にて行われた。指導は本
部道場指導部森智洋師範。
稽古は午後2時より2時
間、大宮道場、久喜合気道
同好会、白岡合気会、桜道
場等々より65名が参加し汗
を流した。

本講習会は年に2回行わ
れるもので大宮道場と久喜
合気道同好会が交代で幹事
を務める。今回は久喜合気
道同好会。普段は柔道場1
面しかない会場に畳を増設
して約2倍となった会場で
皆、思う存分稽古していた。
稽古後の懇親会も和気藹々
とした雰囲気でご道場が交
流を深めた。

各道場の昇段者

28年12月10日～
29年 1 月 9 日
(公財)合気会登録

【四段】

◆三重合気道研究会＝廣田美由紀◆山口合気会姫路大津道場＝山地秀明◆J 1 合気会＝平賀貴志◆一宮合気会＝古池庸男◆月窓寺道場＝小木曾淳◆幸優氣会＝小林晋、小林政美◆合気道佐久道場＝狩野雅彦◆武修館道場＝岩藤浩範、松井光弘、青木浩◆自由が丘道場＝小林高志、寺岡明雄◆秋田武産塾合気修練道場＝小杉匠◆祥平塾＝太田猛、松尾泰幸◆大泉合気道同好会＝斧実穂◆千葉合気道友会＝田丸道雄、千脇茂◆草加竹内合気道会＝木原淳朗◆大阪武育会＝老松克博、老松美由紀◆伊豆至誠会＝フェルナンド・トゥルリソ◆文京区合気会＝森正樹、小林秀◆麻生同心会＝吉岡正喜◆麻布道場＝関根万美子◆明治神宮至誠館＝奥田祥弘、A.Saunders◆明心館道場＝足立卓朗◆野田合気会＝植竹貞雄◆南林間カルチャー＝矢部理砂子◆くさなぎ道場＝金井久和◆守清館＝藤岡洋也◆合気道入江道場＝入江美香子◆GREECE＝A.Pantazopoulos、E.Kosmidis、D.Gerodimos◆FRANCE＝D.Bradna◆AUSTRIA＝O.Sulopuisto◆TURKEY＝S.Ataman◆LIECHTENSTEIN＝W.Sawtsenko◆MYANMAR＝S.Wah、S.Naing、N.Shin◆U.S.A.＝D.Belter、S.Shaw◆NEWZEALAND＝T.Piatek、C.Grealy◆RUSSIA＝Safinrinat、D.Nemirovskiy、S.Vjacheslav◆SERBIA＝B.Lukovic、B.Mrakovic◆ARGENTINA＝D.Castellarin、N.Garcia◆PERU＝J.Castillo

【参段】

◆合気道研心会＝宮本正明、吉田芳江、長谷川勝久◆青山会＝池田篤信◆新宿スポーツセンター＝櫻井薫◆館林合気道クラブ＝星野恵子◆郡山合気会＝村松千尋、濱津邦仁、上田信幸◆月窓寺道場＝野田香◆幸優氣会＝伊波エルネスト◆合気道宇宙の会＝小川正明◆高伝館＝齋藤鬼怒男、小出敦子◆合心館谷本会＝山下勉◆合気道佐久道場＝狩野孝子◆武修館道場＝丹原淳◆自由が丘道場＝田川信政、陶山和重◆秋田武産塾合気修練道場＝三浦幸◆祥平塾＝黒木和彰、茂島信一、佐藤雅彦、桑原将太、住近浩、遠藤晶子、M.Thomas◆杉並合気会＝新間大耀◆三菱合気道部＝森川朋明◆相模和道会＝内山厚、笠井雄二◆大阪合気会＝大西聡子、大槻賢太郎◆大阪武育会＝筒井秀幸、T.Kuszewicz◆土井道場＝須藤隆徳◆府中合気会＝石丸祥仁◆旭川道場＝伊藤稔◆合気道黒石塾＝白石英史、曾弋、松村隆司◆城北道友会＝柳川勇人、青山文哉◆円悠会＝工藤忠吉、青木正樹◆今治合気会＝鈴木邦弘◆明治神宮至誠館＝N.Urguart、S.Bordachev◆明心館道場＝山崎裕◆野田合気会＝石谷雄一◆紫水会松風塾＝木村武志◆熊谷合気研究会＝神田峠介◆三重合気道会＝佐藤仁◆伊那道場＝三澤綾子◆合気道七尾道場＝川島柳誠◆美陵会＝小山博文◆守清館＝高岡秀平◆合気道武石道場＝西藤和正◆白太館＝小泉雄介◆岡山大学＝榎本稔◆千葉大学＝A.Olavo◆防衛医科大学校＝妻鳥元太郎◆U.S.A.＝L.Youngs、E.Maclin、G.Willett、J.Murray◆GREECE＝V.Manthos、N.Uroutsis◆AUSTRIA＝G.Pluch◆MYANMAR＝K.Myint、T.Maung◆NEWZEALAND＝和田理央、A.Klisaric、T.Baynham◆SERBIA＝A.Joksic、N.Naunovic、M.Martinovic◆RUSSIA＝I.Kruchinin、S.Galandin、V.Mudragel、G.Akopyan、N.Chistiakov、A.Alekseev、A.Pern、V.Shubin◆SWITZERLAND＝I.Sonderegger、P.Baur◆ARGENTINA＝P.Moncasi、V.Wawrynyczuk、M.Mahfud◆MEXICO＝C.Moguel◆UKRAINE＝O.Krykunen◆GERMANY＝S.Winter、A.Daehn◆ITALY＝G.Caciolla◆PERU＝P.Rodriguez、P.Polo、R.Goya、J.Flores、Y.Zumaeta

【貳段】

◆合気道研心会＝志原光徳、奥井信大◆A & P 合気道田口道場＝染谷倫行◆西馬込合気道会＝佐治美知子◆高知合気道グループ＝西森富士男、橋尾直和◆山口合気会山口道場＝馬田哲次、藤村智直、重政祐子◆央名会合気道高蔵寺道場＝古田瑠菜◆合気道京都＝長谷川航◆J 1 合気会＝三浦武士◆館林合気道クラブ＝岡崎正◆郡山合気会＝吉田清吉、高橋鐵平◆月窓寺道場＝角田美穂子◆合気道宇宙の会＝小田潤子◆合気道悠風館＝川邊一雄◆高伝館＝加藤孝行◆合心館谷本会＝篠原三奈、山崎茜◆国会合気会＝今井聡◆央名会子平塾蟹江道場＝H.Rody、S.Barros、W.Motta◆自由が丘道場＝菅原美香、竹谷秀基◆順風会＝本田喜久治◆小林道場＝蓮沼健一、姚丕东、王寛、张宏文、李鴻雁、张伟◆祥平塾＝今里真一郎、黒田佳祥、宮崎英子、中牟田佳子、菊地純哉、石原美奈子、渡辺浩史、安河内哲也、松下純子、村上新、藤田昭治、嶋田謙、高瀬日穂子、長田卓志◆清進塾＝開口裕教、今野丈二郎◆A & P 石垣道場＝松井邦彦◆川崎市役所合気道部＝大野剛◆合気道洗心館＝中野登◆相模和道会＝堀川ひろ美◆大阪合気会＝藤井紀人◆大阪武育会＝M.Zywica、M.Szwedowski◆大手前学院＝平林卓真◆大久保合気道優愛会＝馬場美枝◆伊豆至誠会＝吉澤修◆よみうりカルチャー京葉＝渡邊稜馬◆文京区合気会＝陶昌健、栗原昌、岡崎恭美◆麻生同心会＝木村仁美◆麻布道場＝篠田陽子◆合気道昭和道場＝三宅勝也◆明治神宮至誠館＝小松花穂、B.Skibinski、V.Iuliiia、T.Wanda◆明心館道場＝大岩忠三◆目黒道場＝塚田智子、高橋康光◆日高市合気道同好会＝神細工政弘◆穂高道場＝金城哲男◆三重合気道会＝岩本純子、須崎忠匡、坪田真輝、松本仁美◆清和塾永和道場＝新田紗也、山寄一輝◆南林間カルチャー＝五月女功男◆美陵会＝山田重広、新井聡◆くさなぎ道場＝芹田富雄、藤生厚子◆長谷川道場＝山本和正◆山口合気会山陽小野田道場＝前田英治◆東友会＝後藤淳◆守清館＝松本幹之◆昭心会＝鈴木真奈◆白太館＝松井孝成、小嶋明美◆調布合気道会＝信夫秋◆愛媛大学医学部＝小島奈々、佐伯綾香◆名古屋工業大学＝松岡竜生、岩間響子、寺井飛太◆岡山大学＝田中幹大◆高崎経済大学＝大塚英希、石津陽一朗、山浦彰彦、千葉翔太、斎藤絢介、天羽武、土屋宗一郎、武田聖矢、鈴木杏奈、五ノ井友理恵◆滋賀医科大学＝松井太瑠日◆大阪大学外国語学部＝植田健介◆麻布大学＝梅田将徳◆名城大学＝高橋知希、吉田桐馬、小林史佳◆明治大学体育会合気道部＝仁田原広典、矢崎昌光、峰松亮介、石田彩乃◆獨協大学＝小針敦◆皇學館大學＝山本銀河◆IRAN＝P.Bolandkerdar◆BRAZIL＝R.Leao、F.Sousa、A.Martins◆GREECE＝D.Beis、A.Kosmidis、P.Bastas、V.Marinos、N.Gazetas、A.Tasiopoulou、O.Simou、S.Veskis、M.Farfarelos、C.Asimima◆VIETNAM＝S.Tung◆U.S.A.＝M.Mcknight、C.Washington、G.Leek、S.Yanahan、G.Hilgenberg、K.Koch◆AUSTRIA＝M.Sedlmaier◆NEWZEALAND＝B.EugenioⅢ、C.Richardson、M.Rasiri、C.Beale、G.Stojadinovic、N.Templeton◆POLAND＝K.Michalik、A.Broniek、R.Kolodziejczyk、M.Kuchar、A.Bielecki◆SERBIA＝P.Stojanovic、D.Tanaskovic、D.Culum、B.Senic、M.Radosevic、R.Zdrnja◆RUSSIA＝N.Uryupina、O.Gavryushin、N.Petrov、A.Evtushenko、S.Samosyuk、A.Zhumabaev、I.Mochalov、V.Tabachkova、V.Shumilova◆SWITZERLAND＝B.Anthamatten◆UKRAINE＝S.Gavrylenko、Y.En'Ko、I.Orel、V.Dyba、I.Ivakhina◆ARGENTINA＝

＝L.Macchia、M.Fabreau、J.Klaric、J.Paludi、L.Repetto、E.Gavidia、F.Ponce、E.Bermudez◆MEXICO＝C.Chancellor、D.Hernandez、E.Leon、S.Quijano◆CZECH＝K.Grunwald、M.Balicz◆PERU＝R.Palma、J.Altamirano、R.Baca、O.Pizango、M.Alfaro、G.Casanova◆中国＝呉家輝、楊永進

【初段】

◆合気道研心会＝谷邦博、中田義雄、横田裕司、金蓮花、石井周子◆A & P 合気道田口道場＝山田治郎、関口尚美◆央名合気道高蔵寺道場＝山本浩市◆NHK文化センター＝中村優子◆無為会＝封雨萌◆山口合気会姫路大津道場＝高田ちひろ◆合気道稽古会美健会＝上田楓◆新宿スポーツセンター＝小野田香織◆J 1 合気会＝発知彩花◆一宮合気会＝一木誠◆合気道蒸合気塾＝堀川明◆横浜南合気会火曜＝大矢浩司◆花見川道場＝畠中崇志◆月窓寺道場＝在間文枝、濱野萬里子、藤井幹雄、原和泉◆合気道宇宙の会＝柴田彰、須藤洋平◆高伝館＝小出未央◆合心館谷本会＝外園暖、岡井成遊◆合気道三浦＝長島敏幸◆央名会子平塾蟹江道場＝穴井勝幸、P.Silva、J.Batista、F.Sales、A.Crippa、A.Costa、C.Amand◆自由が丘道場＝岡田森、竹谷秀基、寺町健也◆春日井道場＝田口真琴◆小山合気会＝近藤悦子、高庭寛子、松本憲郎◆小林道場＝胡漢賢、段震、马晓彤、张蓓蓓、郭昊霖、张华萌、张蕊、田文君、王彭、张喆、庞智、付作鹏、郭富城、张黎、蔡彬、梁彧、邓向阳◆合気道松本道場＝中村康生、堀珠紀、内田満夫、上野彩佳◆祥平塾＝岡田茂巳、黒木誠剛、清水誉士希、廣瀬大士郎、田中友奈、河野光義、山西ヒロト◆深谷合気会＝佐々木一朗、秋吉ひなた◆神気館＝越智敏博、豊田恵美、堀口裕暉◆菅原総合武道研究所＝駱優、T.Roberts、K.High◆千葉合気道館＝吉田拓矢◆川崎市役所合気道部＝佐藤秀樹、佐藤二三子、林美鈴◆合気道洗心館＝野崎美保◆三菱合気道部＝鈴木達郎◆祖師谷合気会＝浅田慶、沖野康輔、村井眞木、石川さゆり、秋山由里、藤原智加子◆相模原武道学園＝小名木剛◆大阪武育会＝坂井光夫、北村克司、大畑龍之介、G.Pol、A.Collodel◆大和合気道クラブ＝佐藤寿男◆伊豆至誠会＝石田美幸、梅原順子、西野凌矢◆土井道場＝鈴木健太、石崎駿士◆阿久比合気道＝濱田朱音、眞野友希◆よみうりカルチャー北千住＝青柳真有◆入間幸武館道場＝豊田尚◆八広合気道クラブ＝池山徹◆八千代合気会＝篠原温雄、山田藤子、山田義夫◆富士通＝金子浩一◆府中合気会＝石井恭代◆武栄会＝西川直希、大原世吉◆文京区合気会＝坂本朝、高橋亨、森林博司◆旭川道場＝多田衣李◆合気道黒石塾＝松信淳志◆城北道友会＝高住昂樹◆麻布道場＝田中健◆円悠会＝山下武司、長谷川さくら◆今治合気会＝羽藤花恋◆明治神宮至誠館＝佐野真也、山本某路、菱刈慶樹、金子啓七、安島美恵子、室賀浩志、川満雄起、T.Vitkova、E.Kondrazkaya、M.Yuri、E.Struganova、P.Mareichev◆明心館道場＝西出宏、平岡拓、加藤眞果、石垣蒼汰◆野田合気会＝清水保、古川敦也◆熊谷合気研究会＝丸山一義、畠山和久、岡崎由希、金子尚志◆日高市合気道同好会＝西田慈都◆三重合気道会＝中野貴子、西紀之◆央名会氣守道場＝野口大輔◆伊那道場＝高間幹道、ダグラス・ファー◆美陵会＝小新一樹、吉田達之◆五十嵐道場＝柳澤光宏、西貝英樹◆道学館＝矢島悠吾◆くさなぎ道場＝今本芳明、鳩川和寿◆長谷川道場＝山本和正◆山口合気会山陽小野田道場＝中野響子◆国府台合気道クラブ＝指田さゆり◆東友会＝佐々木剛◆守清館＝原田容逸◆東海合気会＝落合真人、松浦昂、安藤香奈子◆合気道入江道場＝波多野達二、中川学、柴田一輝◆足利市民合気道クラブ＝中山和俊◆合気道武石道場＝小山大輔◆合気道和達の会鳴尾道場＝芝本妃奈◆合気道西神道場＝花本貴博◆調布合気道会＝渡壽弘◆合気道京都＝田端朱野、鉤直子、長田祥恵、藤田さ

やか、ダニエル・ロビン・オブライエン◆横浜市立みなと総合高等学校＝安藤潤◆頼明館中学高等学校＝梶山龍輝、小西琉太◆大阪府立日根野高等学校＝古井千尋、栗栖梨緒、澤田諒人◆愛媛大学医学部＝佐々木史也、中山義基◆名古屋工業大学＝久保田大貴、岩屋遼、三浦正剛、土橋俊紀、松坂康市◆三重大学合気会＝杉村美野里◆相模女子大学合気道部＝近藤優衣、柏木美希◆京都女子大学＝後藤理咲子、平塚恵理、中部屋真利菜、野口早紀、橋本奈々未、澤田倫子、末廣充、堀加奈実◆九州工業大学＝清田浩武◆九州大学＝早田圭吾、盛永拓実、甲斐遥◆高千穂大学＝宮田昌輝◆滋賀医科大学＝中村はる香、北川由華◆室蘭工業大学＝石崎崇彬、鎌田大輔◆松山大学＝村上紗季里◆千葉大学＝木村太郎、吉村俊昭◆早稲田大学＝鈴木啓太◆大阪大学外国語学部＝上村拓也◆筑紫女学園大学＝兼重律子◆福岡大学＝為近亮◆名城大学＝天野貴文◆明治大学体育会合気道部＝橋本隆太、山田寛彬、川岸駿介、河守田真吾、田中薫◆酪農学園大学＝横山彩子◆立教大学＝東奈央、大野望海、乙幡草太、小泉竣、斉藤星沙、斉藤美雛、清水ひなの、長谷川羽利、深澤眞歩、丸山由希子、宮本理帆◆立命館大学＝西原聖人、田澤薫、山内このみ、習田大智、小篠里奈、陳少峰、笈西由倫、島津恵一、小島千里◆山口県立大学＝吾郷春枝、大坪優花、坂口紗瑛子、佐藤美月、光田英莉子、森脇真帆、田中将介◆皇學館大學＝石山友樹、西村希実也、久崎登矢◆清泉女子大学＝庄内絵梨香◆LEBANON＝R.Bercachi◆IRAN＝M.Jalilian、A.Rahmani、S.Haddadi◆BRAZIL＝A.Mariz、P.Nascimento、D.Oliveira、E.Bonfim、M.Ramos、R.Watanabe、M.Gallo、C.Pelegriño◆U.S.A.＝ジェイムス・レンウィック、B.Hart、K.Chock、R.Sweeney、J.Rice、J.Shumaker、S.Ficken、L.Shelton、V.Pharm、P.Nekoranec、M.Mekasha、F.Askan、M.Little◆GREECE＝G.Thanopoulos、A.Lykos、G.Bouloukos、E.Moustos、T.Tsovilis、N.Tasiopoulos、M.Moraitaki、A.Konstantinidou、A.Tsolakis、S.Karagrigoriou、M.Souti、S.Soutis、K.Demenagas、K.Dandolos◆VIETNAM＝V.Anh、C.Hoang、H.Viet、G.Huong、B.Thanh、T.Huu◆KAZAKHSTAN＝D.Shulanbayev◆TURKEY＝A.Ozcan、B.Gunes、S.Mosevi、M.Olmez、S.Calgan◆MYANMAR＝M.Oo、S.Maung、A.Himes◆NEWZEALAND＝N.Nambiath、B.Gadsby、P.Bayly、B.Daly、K.Hardwick、I.Comer、J.Cuthbert、A.Roesli、R.Wilkins、T.Raharuhi、B.Eastwood◆POLAND＝M.Sygula、T.Bernas、M.Olesiak、M.Rosol◆SERBIA＝S.Stajkovic、D.Perkovic、O.Obrovac、D.Kutlesic、J.Begovic、O.Radosavljevic、A.Korenic、A.Nesic、M.Dimitrijevic◆RUSSIA＝X.Sesikova、V.Oskina、A.Lyutikov、R.Timurshin、K.Barkhatov、T.Beznosyuk、P.Pankratev、D.Pazukhin、D.Mukhametov、E.Kubanychbekov、E.Shiniakov、A.Alekseeva、G.Davidyan、S.Verevkin、D.Smirnov、V.Postol、S.Krasnov、G.Dik、T.Chistiakova、K.Stepanov、A.Ibreev、D.Staroverov、V.Aleksiuik、A.Levandovskiy◆SWITZERLAND＝M.Borne、A.Estoppey、Y.Estoppey、A.Simons◆UKRAINE＝Y.Lukianenko、A.Litvinov、A.Lukavenko、A.Sereda、M.Yemelianov、M.Sperkach◆ARGENTINA＝F.Ciccarelli、G.Ferraro、L.Gonzalez、M.Greco、L.Lichowski、J.Lopez、C.Mahfud、D.Salvatore、C.Verdugo、P.Vigliano◆MEXICO＝P.Gonzalez、J.Loeza◆AUSTRALIA＝J.Thomas、J.Whitten◆GERMANY＝M.Unger、L.Neckermann、A.Bremer、S.Bremer、L.Grieken、B.Janecek、T.Palten、G.Semar◆ITALY＝M.Badea、M.Pecci、M.Melone◆PERU＝G.Canales、C.Abanto、J.Huaman、M.Vasquez、S.Unocc、R.Lindley、J.Vega、J.Torres、G.Ugolini、J.Fernandez、P.Villacorta、D.Lopez、J.Galvez、M.Ricci、D.Quiroga、J.Roncero、J.Carpio◆BULGARIA＝P.Pokrovnitchki